

---

令和3年大和町議会決算特別委員会会議録

---

令和3年9月15日（水曜日）

---

応招議員（17名）

委員長	今野善行君	委員	渡辺良雄君
副委員長	馬場良勝君	委員	千坂裕春君
委員	宍戸一博君	委員	門間浩宇君
委員	児玉金兵衛君	委員	藤巻博史君
委員	佐々木久夫君	委員	堀籠日出子君
委員	佐藤昇一君	委員	馬場久雄君
委員	今野信一君	委員	大須賀啓君
委員	犬飼克子君	委員	槻田雅之君
委員	千坂博行君		

---

出席議員（17名）

委員長	今野善行君	委員	渡辺良雄君
副委員長	馬場良勝君	委員	千坂裕春君
委員	宍戸一博君	委員	門間浩宇君
委員	児玉金兵衛君	委員	藤巻博史君
委員	佐々木久夫君	委員	堀籠日出子君
委員	佐藤昇一君	委員	馬場久雄君
委員	今野信一君	委員	大須賀啓君
委員	犬飼克子君	委員	槻田雅之君
委員	千坂博行君		

---

欠席議員（0名）

説明のため出席した者の職氏名

副町長	浅野喜高君	財政課長	菊地康弘君
総務課長	千葉正義君	財政課参事	野田実君
総務課 危機対策室長	児玉安弘君	財政課 課長補佐	堀籠優君
総務課 危機対策 参事	甚野敬司君	財政課 管財契約係長	高木健太郎君
総務課 課長補佐	大友徹君	財政課 財務係長	渡部徳平君
総務課 副参事兼 総務法令係長	大友悦治君	まちづくり 政策課長	江本篤夫君
総務課 副参事	加藤明美君	まちづくり 政策課 参事	武田力也君
総務課 危機対策室 危機対策係長	伊藤良博君	まちづくり 政策課 課長補佐	早坂基君
総務課 広報係長	佐藤宏高君	まちづくり 政策課 政策企画係長	鈴木達也君
総務課 職員係長	小澤正行君	まちづくり 政策課 まちづくり 推進係長	石川拓君

事務局出席者

議会事務局長	櫻井修一	主任	渡邊直人
主事	浅野真琴		

議事日程〔別紙〕

---

本日の会議に付した事件〔日程と同じ〕

---

午前9時59分 開 会

委員長（今野善行君）

皆さん、おはようございます。

会議の前に申し上げます。本日の決算特別委員会の期間中におきましては、新型コロナウイルス感染症の集団発生を防止するため、傍聴席の扉を常に開放し、休憩中は議場の両扉を開き換気を行います。議員及び執行部の皆様におかれましては、会議中のマスクの着用、手指消毒等の感染防止対策の徹底をお願いいたします。

また、ご承知のとおり、ただいま9月末までのクールビズ期間中ですので、暑さをしのぎやすい服装で差し支えありません。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

定刻前ですが、皆さんおそろいであるので、ただいまから本日の会議を開きます。

本日の審査は、お手元に配付の審査日程により進めてまいります。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から限られた、時間の中での質疑応答となりますので、円滑な議事運営にご協力をお願いいたします。

審査に入る前にあらかじめ申し上げます。質疑、答弁に当たっては簡潔明瞭に分かりやすくお願いいたします。

これより審査を行います。

審査の対象は、総務課、財政課、まちづくり政策課です。

ここで、各課長より出席職員の紹介願います。

総務課長千葉正義君。

総務課長（千葉正義君）

改めまして、おはようございます。

それでは、私から本日出席している職員を紹介させていただきます。

初めに、皆さんから向かって左隣でございます。総務課危機対策室長の児玉安弘でございます。（「児玉と申します。よろしくお願いいたします」の声あり）

続きまして、後列右側から、総務課危機対策室参事甚野敬司でございます。（「甚野です。よろしくお願いいたします」の声あり）

続きまして、総務課長補佐大友徹でございます。（「大友です。よろしくお願いいたします」の声あり）

続きまして、総務課副参事兼総務法令係長大友悦治でございます。（「大友です。よろしく申し上げます」の声あり）

続きまして、総務課副参事加藤明美でございます。（「加藤明美です。よろしく申し上げます」の声あり）

続きまして、最後列、同じく右側から、総務課危機対策室危機対策係長伊藤良博でございます。（「伊藤です。よろしく申し上げます」の声あり）

続きまして、総務課広報係長佐藤宏高でございます。（「佐藤です。よろしく願います」の声あり）

そして、総務課職員係長小澤正行でございます。（「小澤です。よろしく願います」の声あり）

私、総務課長千葉正義でございます。どうぞよろしく申し上げます。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

皆様、おはようございます。

では、財政課の出席職員をご紹介します。

私の隣、参事の野田実でございます。（「野田でございます。よろしく申し上げます」の声あり）

後列、課長補佐の堀籠優でございます。（「堀籠です。よろしく申し上げます」の声あり）

その隣でございますが、管財契約係長の高木健太郎でございます。（「高木健太郎です。よろしく願います」の声あり）

最後列です。財務係長の渡部徳平でございます。（「渡部です。よろしく願います」の声あり）

最後に私、財政課長の菊地康弘です。どうぞよろしく願います。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

おはようございます。よろしくお願いいたします。

それでは、まちづくり政策課の出席職員を紹介をさせていただきます。

私の隣が、参事の武田力也でございます。（「武田です。どうぞよろしくお願い申し上げます」の声あり）

私の後列になりますが、課長補佐の早坂基でございます。（「早坂です。よろしくお願い致します」の声あり）

その隣になります。政策企画係長の鈴木達也でございます。（「鈴木と申します。よろしくお願いいたします」の声あり）

最後列になります。まちづくり推進係長の石川拓でございます。（「石川です。よろしくお願い致します」の声あり）

最後に私、まちづくり政策課長の江本篤夫でございます。よろしくお願いいたします。

委員長（今野善行君）

なお、副町長浅野喜高君が同席しておりますが、決算特別委員会の審査期間中、同様に同席をいただきますので、ご紹介いたします。

副町長（浅野喜高君）

おはようございます。どうぞよろしくお願い致します。

委員長（今野善行君）

説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入ります。

質疑ありませんか。2番児玉金兵衛さん。

児玉金兵衛委員

おはようございます。では、早速よろしくお願ひします。

各課に1件ずつ、危機対策室に2件お尋ねいたします。

では早速。総務課からいきます。決算書81ページ、2款1項2目文書広報費。成果説明書によると、32ページ、広報たいわの発行とございます。昨年度から広報たいわの紙面非常に見やすく、一般町民の方からも周囲からも好評をいただいております。広報モニターの活用とか、読者目線を取り入れたり、あとは企画からデザイン、研さんされたと思うんですけども、去年の紙面の改善点などをお聞かせください。

続いて、財政課です。決算書81ページ、2款1項3目と5目、両方とも24節で積立金であります。3目はまちづくり基金3億5,000万円、5目は庁舎建設の整備基金5,000万円、それぞれの性質、基金の性質、それから積みまれましたそれぞれの額の狙いといいますか、そこら辺ご説明ください。

続いて、まちづくり政策課です。決算書87ページ、2款1項6目企画費。成果の説明書によりますと、35ページの第5次総合計画に係る骨子及び基本構想案の作成700万円であります。なかなかかなり、ボリュームのある意見集約の下に骨子が完成されたと思うんですけども、その骨子を作成する際の組織体制、本庁内の総合計画策定委員会を筆頭にして町民有志、それから職員さんの3つのチームに分かれまして、結構大きな町民アンケートを実施して、それを取り入れてもまれたと思うんですけども、その総合計画審議会から始まって役場内のプロジェクトチームまで、それぞれのセクション、どのような狙いを起こして検討して、それぞれのよさがどういうふうに生きているか。そこら辺をご説明をお願いします。

最後に、危機対策室であります。2件です。決算書167ページ、8款1項4目10節需用費ですね。成果説明書によりますと、水防体制の整備及び評価でございます。水防の資材、装備、主な資材、消耗品や水防団の現在の体制、固有の装備品などを説明してください。

もう一つ、89ページ、2款1項9目、これは具体的に追えなかったんですけども、交通対策費でしょうか。昨年度から引き続きだと思うんですけども、6月の一般質問でも同僚議員がいたしました県道榑沢中町線上町中町の交差点にありますいわゆる老朽化したUFO信号機、今話題になっていると思うんですけども、その現在役場のほうで要望を入れていると思うんですけども、進捗をお聞かせください。以上、5件です。よろしく申し上げます。

委員長（今野善行君）

総務課長千葉正義君。

総務課長（千葉正義君）

それでは、児玉委員のご質問にお答えいたします。

1点目の広報たいわの発行について工夫した点、改善点、そういう部分にお答えいたします。まず、質問の中でもモニターの活用ということ、ございました。広報モニターについては、説明書でも毎月50人の方にアンケートをお願いしております。その



質問の中では、設問を8点ほど聞いておりました、点数をつけていただく部分では表紙の部分、文章の部分、写真、見出し、レイアウトなどの、こういう項目で点数化していただいて、それぞれ10点満点でございますが、約8点の評価をいただいております。当然、こういうモニターのご意見も次の紙面作成に活用させていただいております。具体的に、毎月担当、内容を検討して作成しておりますが、具体的な部分については担当の佐藤係長から説明させていただきます。

委員長（今野善行君）

広報係長佐藤宏高君。

総務課広報係長（佐藤宏高君）

それでは、児玉委員さんのご質問に、広報たいわの改善点という点だったんですけども、大きく言いますと2点ございまして、令和2年4月号から大きく改編を行ったんですけども、10年以上ですか、前の形式のままやっていたんですけども、大きくは表紙と中ほどにあります今まではボイスという名の町の中の話題の記事、あったんですけども、そちらをデイズという形でリニューアル、大きく1点させていただきました。そちらにつきましては、表紙につきましては前月といろいろな情報と、インデックスですとか、いろいろな町のスローガンとか掲載していたんですけども、そちら、少し内容を減らさせていただきまして、より迫力のある表紙のほうに改善を図りました。そちらもモニターアンケートでも一番見栄えのところでいろいろな評価で迫力がある、ダイナミックであるということで、昨年アンケートではいただきました。

そして2点目、中ほどのたいわデイズ、カラーページの町の話題の記事になるんですけども、そちらにつきましては従来縦書きだったものを横書きにしまして、より写真を大きく、枚数使えるように改善を行いまして、目次につきましては表紙にあったものを情報から中ほどに移動したんですけども、そちらの代わりとしまして、各ページの左にインデックスと振りまして、どのページに何の記事が載っているというのをよりイメージしやすくしまして、改善をしております。大きな改善点としては以上となります。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長 （菊地康弘君）

それでは、児玉委員のご質問にお答えさせていただきます。

まず、まちづくり基金と庁舎基金の性質、性格ということでございまして、こちらまちづくり基金につきましては3億5,576万7,000円積立ていたしまして、こちらにつきましては吉岡西部地区土地地区画整理事業、近い将来予定されてございますので、その繰出金として考えてございます。また、庁舎建設整備基金、今回5,000万円ほど積立て新設、新たに造成して積立てさせていただきました。こちらにつきましては、今後庁舎増築が必要になるということの検討委員会の意見がございまして、とりあえず5,000万円ということの金額なんですけれども、こちらにつきましては実施設計の契約ベースのプランになるのではないかとということで、積立てさせていただきました。以上でございます。よろしくお願いたします。

委員長 （今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長 （江本篤夫君）

それでは、児玉委員三の第5次総合計画国土利用計画策定業務についてのご質問についてお答えさせていただきます。

この業務につきましては、昨年度においては住民アンケート等を行いまして約4,500の中から、住民の皆様からご意見をいただいて、それらを含めて基に、この中で先ほどご質問いただきました大和町の策定委員会、本部会議ということで、こちら各課長等の組織している会議になります。そちらで専門的などところを行うという形。それから大和町の審議会ということで、こちらについては町内の各団体の方々にご出席をいただいて、約20名の方という形で審議会を組織してございます。そのほか、町内で若手職員に参加していただいたという形で、こちら30名の方がPPTということでプロジェクトプランニングチームという形で、各課から課長補佐以下の職員を組織しまして、分野ごとに検討するという形で、これは住民アンケートの結果等を基に、プロジェクトプランニングチーム等で意見を集約しながら今後の町の強み、弱みといったところの分析等を行いながら、検討を行っているという状態でございます。それらのリーダー、各部門にありますが、そのリーダーと住民の方々と一緒に懇談会という形で組織をさせていただいて、総勢で36名の方々に別に住民懇談会ということで、

ワークショップ的な形で組織をさせていただいて、その中で住民の方々と意見とアンケートを基に、またプロジェクトプランニングチームの意見等をクロスさせながら、意見集約をして今現在計画の策定を行っているという状態で、広く皆さんの意見を聴きながら充実を図っていききたいなということで組織をしているところでございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

危機対策室長児玉安弘君。

総務課危機対策室長（児玉安弘君）

それでは、児玉委員さんのご質問にお答えをいたします。

水防費についてでございます。大和町内、今水防倉庫6箇所ございまして、それぞれのところに主にはブルーシート、土のう袋を用意しまして、それに必要となる各種資機材といたしまして木ぐいであったり鉄筋であったり、必要な物品を用意しております。

特に、各水防庫に土のう用の洗い砂も用意しておりますので、水防団、消防団の方々であるんですけども、大雨等降る前に前もって土のうを作っていたり、活動をしていただいているところでございます。あと、大雨の際の活動、危険を伴いますことから、救命胴衣もそれぞれの水防倉庫に備えている状況になっております。

次に、2点目の信号機についてでございますけれども、5月末に大和警察署に係る皆様連名で要望書を提出しているところでございます。その後の結果はまだ文書ではいただいている状況でありまして、何度か電話等で確認している状況にございまして、近々警察でも結論出さなきゃいけないということで、関係の皆様説明等あるのかなと思っておるところでございますが、その詳細についてはまだ確認していない状況でございます。よろしくお願いたします。

委員長（今野善行君）

児玉金兵衛君。

児玉金兵衛委員

では、再質問させていただきます。まず、総務課の広報たいわからです。佐藤係長、私も議会の広報やっております、勝手にライバル視しておるんですけども、

これはあれですか。例えば何か特別な研修を受けたり外部的なアシストをいただいて、改善、レベルアップをしたのか。それともある程度のチームがあって自分たちでモニターさんの意見とか目線を吸収しながら、内発的に自分たちで改善点を探り出して徹底したのか。そこら辺、自発的なものなのか。それとも何かのいいきっかけがあったのか、研修か何かを利用したのか、そこら辺を教えてください。

財政課です。例えば当面まちづくり基金に関しては西部地区に備えるためということなんですけれども、その先を考えると公共施設のいわゆる長寿命化計画というのでも策定に入っているというまちづくり基金という名前ですので、かなり広範な使い勝手のいい、大和町ならではのしっかりした厚みのある基金であるという認識でよかったですでしょうか。

あとは、先ほども庁舎の建設、増築の基金に関してはとりあえずと、実施設計に充てるためということなんですけれども、こちらは特定の目的のためとはいえ、財政状況とか優先順位とかもしっかり見据えながらという感覚を受けたんですけれども、その理解でよかったですでしょうか。

まちづくり政策課です。その組織体制で骨子を策定されたんですけれども、一般町民の方にも新旧住民いらっしゃいますし、特に厚みのあるプロジェクトプランニングチームには町内の生え抜きの職員さんと今は町外の職員さん、いらっしゃって、ちょうどよく町内の職員さんと、町外のある程度客観的な目線というのが加わっていると思うんですね。そういうところを何人か意見を聴取しながら気づいた点とかありますでしょうか。

それから、集まっている人材、すごくいい経験であり、人材自体が何か特定の組織をつくらなくても人材バンクとでもいいでしょうか。それが大事だと思いますので、策定に限定するメンバーではあるんでしょうけれども、その人材をこれからもまちづくりの政策のある程度人材、有意義なる人材として活用していただきたいと思います。総じて、役場のチームと一般町民のチーム、主観、客観も合わせていい協働の体制になっていると思いますので、このリズムを忘れずにこのまましっかり進めていただきたいと思います。

危機対策室です。備品の中に救命胴衣、いわゆるライフジャケットがあるんですけれども、これからの激甚災害時代、水防団以外でもやはり危険な見回りとか、夜を徹しての河川の見守りとか活動範囲もすごく、全消防団員が広い範囲であらゆる災害に対応しなければならない。ある程度、水防チームとか固まっているんでしょうけれども、そこら辺ライフジャケットや土のうも含めて配備体制というのを、昨年状況で

は強化を図られたとあるんですけれども、そこら辺実感として今後のことも含めて少し考えていただきたいと思います。

UFO信号機に関しては、やはり私も子育て世代でもありますし、毎朝商店街を通る子供たちの見守りもしております。あそこの信号機は、もし万が一なくなるということになってしまうと大変なことになりますし、今逆に子供たちの通学環境とか守らなきゃいけない時代になっておりまして、時代に逆行することでもございます。そこは相手があつてのことだと思ふんですけれども、しっかり強い気持ちを見据えてこれからも進めていただきたいと思います。見守っていききたいと思います。各課の方から一言ずついただきたいと思います。

委員長（今野善行君）

総務課長千葉正義君。

総務課長（千葉正義君）

それでは、児玉委員の再質問にお答えいたします。

後ほど担当係長から説明させますが、河北新報の記者さんとの意見交換、そういうものは定期的に随時やっておりますが、改善するという部分は個人の意欲、そういうものも大きく影響すると思います。具体的な部分は係長から説明させていただきます。

委員長（今野善行君）

広報係長佐藤宏高君。

総務課広報係長（佐藤宏高君）

研修などについてだったんですけれども、改善するときの参考とさせていただいた中で、年に一度なんですけれども、日本広報協会の中で広報セミナーというのがいつも11月から12月、行っております、昨年はコロナで中止になってしまったんですけれども、そちらのほうで全国の広報担当者集まりまして紙面の作り方ですとか、カメラの使い方の講習というのがありまして、そちら数百人規模で参加するものなんですけれども、そちらの参加して担当者の方との意見交換など行っております。

主に、紙面改善につきましたってだったんですけれども、参考にしたものに関しましては、広報コンクール、同じく日本広報協会でも年に一度行われているんですけれども、

そちらで賞を取った市町村のものを参考にしたりですとか、一番は該当部分につきまして、いろいろな市町村の方法、今インターネットで見られますので、そちらを参考にさせていただいて、あとは市町村間で広報交流している部分もありますので、そちらで先進的な取組をしている市町村さん、特集とかやっているところを参考にさせていただきまして、今回の改善、広報編集委員会にもそちらの改善点をかけてもんだ上で改善を行いました。以上となります。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

それでは、児玉委員の再質問にお答えさせていただきます。

まず、吉岡西部の後、長寿命化のほうへというご質問でございますけれども、今聞いている吉岡西部土地区画整理事業の概算の事業費なんですけれども、40億円を超えて中ほどまで行くというお話を聞いてございます。その中で、土地の売り払いとかがございまして、最終的に町の支出は40億円中盤の大体1割から2割ほどになるのではないかと。その後その金額が戻ってまいりますので、そちらをまちづくり基金の中から現在進めております場所、仮称下草橋でしたり、子育て支援住宅の残り分でしたり、そういうものに、各課で所管しておりますコミュニティーセンターの建物、学校もこれからだんだん出てくると思います。そういうものを確認していきながら、今後町長、副町長の二役査定の中で、1件1件事業の中身、優先順位、精査しながら、余ったお金でどんどんこちらの庁舎建設基金に積み立てていきまして、その迎える際にこちらを充てたいと考えてございました。よろしく願いいたします。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

それでは、児玉委員さんの再質問にお答えさせていただきます。

このプロジェクトプランニングチームの参加している職員につきましては、町内外の職員、その割合については把握はしていなかったところなんですけど、確かにずっと今まで生まれ育った町だけで見ている職員と、町外からという視点ではその辺の違い

はやはり多少なりとも見方が違う。こちらは当たり前と想着いても、町外の方ですとこれがいいというところもございますので、そういったところを踏まえながら、職員同士でもそういった意見を組み合わせていったというところがあるところでは。

そういった意見を活発にしている職員については、そういった意識を持っていただいたところなので、それらを各課に戻ってもそういった意見を逆に波及していただくような形が、一番町としてもよろしいのかなということの意識づけとしては、よろしいのではないかな。こういった活動をしていければということで、3点目の住人の方々の活動についても協働のリズムというお言葉をいただきました。そういったところも町としてそのような継続の仕方とか、そういったところも踏まえて、策定事業につきましては、今年度も継続してございますので、そういったところも踏まえながら、私どもで策定に向けた活動と併せて、その辺を考えていければなと思っております。以上でございます。

委員長（今野善行君）

危機対策室長児玉安弘君。

総務課危機対策室長（児玉安弘君）

それでは、児玉委員さんのご質問でございます。おっしゃるとおり、近年激甚災害が激甚化しているということで、本町においても例外ではないのかなと考えております。その中で、消防団の皆様にも活動していただく上で、安全が一番かなと思っておりますので、引き続き対応してまいりたいと考えております。

信号機につきましても、警察署でも地域の声を無視して一方的に撤去することはないというお話もいただいておりますので、引き続き機会を捉えてお話をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

委員長（今野善行君）

2番児玉金兵衛君。

児玉金兵衛委員

おおむね理解いたしました。終わります。

委員長（今野善行君）

ほかにございませんか。6番犬飼克子さん。

犬飼克子委員

総務課に2点とまちづくり政策課だと思ふんではすけれども、2点お聞きしたいと思ひます。まず初めに、総務課の主要な施策の39ページの2款1項9目交通対策費でチャイルドシートの貸出しなんです、ここ3年間、毎年15台の貸出し台数になっていりますが、利用者の声や要望とか待機している人の声とか、把握しているかどうかお聞きしたいと思ひます。

総務課の2点目、主要な施策の2款1項10目無線放送、防災無線の同じく39ページの防災無線放送の適切な運用と防災情報や訓練情報等の迅速な伝達により、住民生活の安心安全に寄与するとともに、民生の安定が図られたということでございませんが、聞き逃しサービス、利用件数どうだったかお聞きしたいと思ひます。

まちづくり政策課の主要な施策の35ページ、2款1項6目、黒川圏域広域行政推進協議会、圏域内の課題に関して協議し、黒川地域内の地域公共交通の状況を取りまとめたとありますが、これは状況を話し合っただけなのか、解決策が出たのかをお聞きしたいと思ひます。

まちづくりの2点目、同じく35ページ、カヤの木ホテル保存会に10万円、去年は7万円でしたが、費用対効果をどのように分析しているのかをお聞きしたいと思ひます。

委員 長 （今野善行君） 危機対策室長児玉安弘君。

総務課危機対策室長 （児玉安弘君）

それでは、犬飼委員さんの質問にお答えします。

現在、町で貸出し可能なチャイルドシート15台ということで、1年間を期限として貸出しをいたしているところございません。貸し出して今全て出払っている状況、去年続きまして、その間二、三件程度、ないんではないかとこの問合せはありますが、今貸出し中であるということでのご理解をいただいています。今現在は、若干の余剰がございまして、町で保有している状況ですので、今後引き続き現在の状況で続けてまいりたいと思ひておひます。

次に、無線放送の聞き逃しサービスについてございませんが、すみません、今詳細な数字は持っていないんではすけれども年間、約600件程度、毎年問合せの電話が来て



いる状況でございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

それでは、犬飼委員さんのご質問にお答えをさせていただきます。

まず、1点目でございます。黒川圏広域行政推進協議会の検討内容でございますが、昨年度におきましては各市町村の担当者でもちまして検討案件としまして、まず黒川圏域における公共交通のバスの導入検討ということで、引き続きの継続の検討でずっとやってきたものでございますが、郡内でもって新たな交通で町村をまたぐ形でできないかという検討を今やってございまして、そういったところを引き続き担当で今検討しているという状態でございます、自立に向けての具体の提案まではまだ行っていない状態でございます。

2点目でございます。カヤの木ホテル保存会でございますが、こちらについては昨年度が3年目という形で補助事業をやってございます。初年度平成30年からということで、13万円の補助を行いまして、平成31年、元年度が7万円ということで、昨年度10万円という形で継続3年間という形でやってございます。こちらにつきましては、この事業については各地域の方々、その団体が継続してそういった活動をやっていくという形の意思表示をいただいた団体に向けて、その援助資金という形で協議会に町から補助をさせていただく形で、あくまでも3年間という形、最長でございますが、3年間という形で30万円の助成という形になってございます。

その後については、各地区団体で活動の継続を検討いただいて、活動継続のための資金という形で助成をしたものでございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

6番犬飼克子さん。

犬飼克子委員

チャイルドシートの今若干余剰があるということで、このまま続けるということでぜひ、好調とお聞きしておりますので、よろしく願いいたします。

2点目の防災無線の聞き逃しサービスなんですが、年間600件ということだったん

ですが、先日防災無線で救急車の出動件数が多いので、あまり使わないようにではないですけれども、防災無線で流れたので、例えばシャープ7119、救急車を呼ぶかどうか迷ったときのシャープ7119を、これも掲載してはどうかと考えますが、この辺お聞きしたいと思います。

2点、まちづくり政策課。郡内でまだ今検討中ということで、一般質問でも同僚議員の質問でもありましたが、宮城大学の懇談会でもぜひ交通の便のよい町をという話がありましたので、ぜひ交通の便のよいまちづくりを望みたいと思います。

2点目のカヤの木ホテル保存会の件ですが、今後の活動の継続ということで、ぜひトイレの設置の方向でお考えしていただきたいと思いますが、お聞きします。

委員長（今野善行君）

危機対策室長児玉安弘君。

総務課危機対策室長（児玉安弘君）

それでは、犬飼委員さんの再質問にお答えいたします。

聞き逃しサービス、おっしゃった救急車の関係ですけれども、これは救急車の適正利用ということで、本当に必要な方に使えるようにということ呼びかけ、これは消防署からの依頼で流した放送かと思います。7119につきましては、県の事業でやっている事業でございますが、引き続きこの広報等のような形でできるのか検討して、可能な限り努めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

犬飼委員さんの再質問にお答えさせていただきます。

まず、黒川圏の広域行政関係の交通の便のよさについてという形で、その点に関して黒川郡内でも各市町村で検討はさせていただいているというところでございますが、その中でも民間の事業者さんが運営しているルート等もございますので、そういったところとの重複等、その辺もかみ合わせながら、どういったルートがいいのかとか、その辺も含めて今検討してございますので、そういったところありますので、なるべく重複という形になりますので、なかなか民間業者さんの協議がどうしても必

要になってきますので、その辺もあろうかと思えます。

2点目でございます。カヤの木保存会の区域の中にトイレの設置というお話でございますが、今回まちづくり協議会への活動助成につきましては、あくまでも活動についての形で、運営に関しての助成という形で今回やらせていただいたところでございます。地域のハード的なものになりますと、またいろいろと状況的なものも把握しないと、今現在では運営にだけまずお願いをしてという形になりますので、その辺はお話をいただきながら、私どもでできるのかその辺は何とも今の段階ではお答えしかねるところもありますので、その辺の事情等を聞きながら考えていきたいとは思っております。以上でございます。

委員長（今野善行君）

6番犬飼克子さん。

犬飼克子委員

おおむね理解いたしましたので、終わります。

委員長（今野善行君）

そのほかにございませんか。10番渡辺良雄君。

渡辺良雄委員

まず、財政課に主要な成果の説明書の4ページ、個人町民税約1億5,500万円減とございます。決算書見ますと2,300万円ほどの補正減額となっておりますが、おおむね見積りどおりであったということなのかどうか。その確認が1点。見積りはおおむね正しかったという理解でよろしいのか。そこをお尋ねします。

それから、総務課にお尋ねします。主要な成果の説明書30ページ、31ページ、職員研修について。こうして見ますと、中止という研修が幾つかございます。これのコロナで中止というのはやむを得ない理由かと思うんですけども、これに対する総務課としての町としてのマイナス点。それから今後どのようにこれをリカバリーされようとしているのか。その辺の考えを少しだけお伺いをします。

32ページ、胃がん検診の受診者数2人となっているんですが、胃がん検診の、ちょっと考えますと異常に少ないような気がするんですが、受診者数の適否この辺ひとつお伺いします。

最後に、ふれあい懇談会の開催、33ページですが、町長が町民との直接対話、例年ですと1団体ではなくて幾つかの団体かと思うんですが、なぜ1団体だったのか。参加者が12名とありますが、ちょっと成果が少ないと思うんですが、その辺の理由なり今後の方向をどのようになさるのかお尋ねいたします。以上です。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

それでは、渡辺委員のご質問にお答えさせていただきます。

5ページの個人町民税の見込みが大体合っていたかということでございます。こちらにつきましては記載のとおり、元年度の個人町民税の減収に伴う減収補填の借入れ等がございまして、こういう金額にはなっているんですけども、おおむねこちらは予想どおりで来ていると考えてございます。こちら税務課で毎年その翌年に起こるであろう事象等を検討しまして、大体翌年はこのくらいになるだろうと想定して出しているんですけども、こちら大体今回ほぼ合ってきていると見てございました。よろしく願いいたします。

委員長（今野善行君）

総務課長千葉正義君。

総務課長（千葉正義君）

それでは、渡辺委員のご質問にお答えいたします。

まず、研修の部分でございしますが、成果の説明書で幾つかの研修でコロナの関係で中止となっております。この研修について、30ページは新規採用職員研修ということで、採用になった1年目の職員が県内の町村集まって、県庁裏の自治会館で集団で研修するものでございます。この研修を受けられない部分については、数年前から町独自で採用の辞令交付直後1週間程度、集中的に町の職員、外部からの講師を招いて研修を行っております。そういう部分で、この新規採用職員研修は代替ではないんですが、カバーできたんではないかなと考えております。

それ以外の市町村職員研修所主催の研修については、階層別研修となりまして、一定期間の採用年数、役職になった職員が受ける研修でございます。令和2年度は中止

のため受講できない状況でしたが、翌年度、今年度受講の機会を与えております。ただ、今年も年度半ば、8月下旬からの研修については、コロナの状況が悪化している状況もありましたので、こういう研修も中止となったものもございます。それもコロナが改善すれば、令和4年度に受講をしていただくように考えております。

また、係長研修については30ページの上のほうの表にございますが、係長級職員研修ということで、町独自に研修も2年度は実施しておりますので、その点で対応させていただいた部分もございます。

次に、胃がん検診の受診者2名ということでございますが、この検診につきましては希望者が受けるものとなっております、胃がん検診については2人しか希望がなかったということでございます。職員については、全職員が総合検診を受けるか人間ドック、どちらかを受けておまして、その中でも心配な部分がある職員については胃がん検診であったり、子宮がん、乳がん検診、そういうものを受診しているものがございます。

最後に、ふれあい懇談会につきましては、例年ですと大和町婦人会連合会とみやぎ生協の2つの団体が、隔日に懇談会の開催を行っておりました。2年度については、みやぎ生協さんでコロナ関係で2年度は見送りをしたいということでございましたので、1団体となったものでございます。今年度についても先ほどの2団体からの懇談会開催の申込みがございましたので、コロナがまん延防止となったので、これ以上悪化しなければ2団体が開催となる見込みでございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。先ほどの説明で追加です。

財政課長（菊地康弘君）

先ほど、渡辺委員のご質問に対しまして、私5ページの部分でご説明をさせていただきましたが、4ページの部分でございましたよね。申し訳ございません。主要な成果に関する説明書4ページの下から3行目の個人町民税でございます。申し訳ございません。勘違いしました。

こちらにつきまして、約1億5,500万円の減ということで記載してございます。こちらにつきましては前年度の比較でこの減になってございまして、2年度の分につきましては決算書の19ページ、20ページにございます1款1項1目個人の部分で、当初予算10億8,000万円ほどの見込みだったんですけれども、20ページの収入済額13億

8,496万3,000円ということで、約490万円ほど増えているという状況でございます。大体いつも担当課ですと少し低め低めで出してきたおきまして、大体このくらいにはなるんであろうなどは考えておきまして、ほぼ予定どおりでございました。すみません、申し訳ございませんでした。

委員長（今野善行君）

10番渡辺良雄君。

渡辺良雄委員

ほとんど理解をいたしました。1点がん検診の希望者がお二人だったということについて、がんで結構多いのが大腸がんと胃がんかなと思うんですけども、そのほかのがん検診なんか、子宮がん検診ですとか、ほどほどの人数の方が受診、受検されているのに、なぜ胃がんだけ希望者が少ないのか、まだちょっと疑問が解けないのでもう一度ご答弁をお願いします。

委員長（今野善行君）

総務課長千葉正義君。

総務課長（千葉正義君）

それでは、渡辺委員の再質問にお答えいたします。

胃がん検診の受診がなぜ低いのかという部分につきましては、これもはっきり理由は今申し上げられない部分ではございますが、女性の検診については非常に認識が高いので、受診率も対象者からすると高いと思われま。胃がんは自覚症状がどれだけあるのか。ポリープできる人は多くはございませんが、たまに聞いておりますので、そういう方は検診を受ける方向に行っているのではないかなと思います。

この検診についても、実際の対象者の把握、受診の勧奨、そういうのは今後進めていきたいと考えます。以上です。

委員長（今野善行君）

ほかにございませんか。ございませんか。11番千坂裕春君。

千坂裕春委員

財政課からまず始めます。1点目が健全化判断比率及び資金不足比率に関する説明書資料2ページ、実質公債費比率が令和2年度0.8%ということですが、監査的に見ればとてもすばらしい数字という見方ができるとは思うんですが、いざ政治的というか、町としてのまちづくりというのか、将来世代に対する投資ということから見ると、大分少ないという、私感じているんですけども、こういった0.8とか1%とか、そういった数字で今後も続けられていくのかということ、まず1点。

2点目が主要な施策の5ページの文中に下から6行目、物件費等のという文言ありますけれども、光熱費のことを申し上げたいんですが、光熱費、各課にはありますけれども、ひっくるめて財政課で管理している観点からお話しさせていただきますが、いま世界中で温室効果ガスの削減に取り組んでいて、いろいろな施策出しているんですが、その中で再生エネルギーがどうのこうのという話になって、以前話していた省エネをどうしようかという議論がすごく希薄になっている感じ、私するんですが、庁舎内で省エネに取り組んでいる具体的な取組、あったらお聞かせくださいというのが2点目。

3点目、令和2年度決算に関する説明書の内訳の（委託金、補助金）という冊子がありますけれども、その1つ指しますけれども、14ページの消費関係でお話しさせていただきますが、令和2年度コロナ感染拡大防止の観点で、様々な事業が中止になっております。各種団体に支出した補助金関係の、何ていうのかな、使わない分と言ったら申し訳ないんですけども、そういったものの精査が令和2年度重要かと思うんですが、毎年と違う方法でそういったものを精査したのかどうかお聞かせください。

総務課、主要な施策の41ページの社会を明るくする運動推進事業ですが、庁内または職員内の周知がまだまだ足りないという認識、私持っております。また、この事業の目的が、読んでみると青少年の非行防止とか、犯罪をなくし明るい社会をつくるということですが、その目的とこの運動の名前が若干ずれがあるような気がするんですけども、まず周知徹底の方法と内容を明確化するために、事業名の在り方を変えたほうが良いと思うんですが、いかが考えるのかということ。

申し訳ない。財政課、もう一つ残ってました。事項別明細書10ページの国有提供施設等市町村、違うな、所在市町村助成交付金とありますけれども、具体的にどこどこというもので交付金頂いているのかお尋ねします。以上5点です。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

それでは千坂裕春委員のご質問にお答えさせていただきます。

まず、1点目の庁舎内で省エネの取組状況があればということでございます。大和町につきましては、以前平成15年にごみの排出量や大和町の環境対策としてISO14001というのを取得しております、5年後の平成20年にその認証を返上いたしまして、独自の施策であります大和町役場環境マネジメントシステム、通称大和EMSというものを、各課に担当者を置いて取り組んでおります。財政課の場合、若手職員をその担当に配置しまして、環境負荷低減、資源の省力化について考えてもらうということでやってございます。その中で、3か月に1回、ガソリン使用量ですとか電気料とか、用紙の使用量というのをまとめて担当課に提出している状況でございます。今現在、その大和EMSの中で毎年担当課でデータを取りまとめいたしまして、毎年3月の広報たいわにその状況を載せているという状況でございます。

次に、消費関係で、コロナ関係で様々な事業中止がございまして、その各団体の使わなかった部分についてということでございます。こちらの資料の14ページでございますが、各課コロナ関係で補助金、交付金等出している部分につきましては、ほぼ使わなかった部分はそのまま返還していただく等の形をとってございます。財政課分ですと、財産区から一般会計に繰り入れまして地域団体へ補助している部分がございますが、そちらについては毎年4月になってから総会をやりまして、それで使わなくなった部分が出たという報告が、そこで初めて受けた部分もございます。実際に、宮床地区の団体ですと、令和2年度に使わなかったのが最初から返しますというところもございますけれども、令和3年度に入ってから来た団体につきましては、その繰越額を見まして、今年度につきましては例えば10万円補助するんですけれども、そこは今年度は補助しないでください、令和2年度で繰り越した部分を使ってやってくださいという指導をさせていただいております。

国有提供関係についてでございます。財政課で所管しておりますのが、国有提供施設等所在市町村助成交付金というのがございます。こちらにつきましては、国が所有しております固定資産のうち、自衛隊の主要資産の所在する市町村に対しまして交付されるものでございまして、2つございまして、交付金総額の7割相当が交付対象資産価格の合計額に案分した額と、2つ目が交付金の総額3割相当、こちら交付対象施設の種類及び用途、例えば飛行場ですとか、海上とか陸上とかいろいろあるようです



けれども、その市町村の財政状況にも応じて交付されるという内容でございます。こちら、毎年12月に交付されておりまして、使途の制限はなしというものがございませぬ。以上でございます。

委員長（今野善行君）

財政課長、最初の公債費率の問題。

財政課長（菊地康弘君）

すみません、実質公債費の0.8につきまして、すみません、説明が抜けてございました。こちら0.8ということで県内でもなかなか優秀な状況になってございます。ただ、これを上回るのがマイナスの表記がつかまして令和元年度で2.0、マイナス表記の市町村が3市町、あと大和町より1つ上が1市町村ございまして、大和町は令和元年度では5番目になってございます。ただ、こちらの公債費につきましては、先ほど千坂委員おっしゃったとおり、公共施設の建設等について起債等行っていく中で、1回で返してしまった場合、現在今生きている私たちが税の負担をして、来年引っ越してきた方々、または今子供たち、そういう方がその資金を払わないでそのまま使用するというところで、税の公平性、平等性の中で、そういうのはあまりよくないということと起債というものがあると思います。

大和町の場合、これまで地方債につきましては平成21年度から見ていきますと、21年度が庁舎の建設があったときなんですけれども、約10億円の起債をいたしまして、その後は3億から5億円の間で借入れをいたしております。主な内容につきましては、交付団体のときの臨時財政対策債、有利な起債の部分を借り入れまして財政運営をしてきたんですけれども、この間法人町民税がどんどん伸びておりまして、起債をすることもなく恵まれた状況でやってきたということもあるんですけれども、これが令和元年度になりまして、法人町民税が一気に14億円ほど減収したということでもございました。今後、大規模事業が目白押しの状況になってございますので、今後につきましてはなるべく有利な起債を中心に借入れをしていきまして、さらに不足する部分は市中銀行からの借入れとか、そういうものがどんどん増えてくるのではないかと見通しを、今立てている状況でございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

総務課長千葉正義君。

総務課長 （千葉正義君）

それでは、千坂裕春議員の社会を明るくする運動についてお答えいたします。

ご承知のとおり、この運動は犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちへの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動でございます。令和2年度は、7月を強調月間としまして大和町でも取組を行っております。まず、ひだまりの丘と役場、研修センターにその運動の旗を設置しまして、広報たいわにその啓発の広報の記事を掲載いたしまして、3時30分運動のステッカーを配布することとしておりましたが、2年度は隔年配布のため2年度はございませんが、3年度は配布をいたしております。このステッカーについても少し小さいのではないかという意見もございまして、今年度作成したステッカーについては区長等のご意見も伺った上で、一回り大きいものとして作ったものでございます。このステッカーについても、この運動についても区長、保護司、更生保護女性会の委員の方を通じて協力をお願いして、実際にその児童生徒が下校の際に、道路で指導していただいているところでございます。

実際、この社会を明るくする運動と3時30分というのが直接結びつかないような表現ということかなと思いますが、大もとの社会を明るくする運動については、全国的な事業、文部省所管の部分でこの運動とされておりますので、これに付随するそれぞれの市町村で行う事業について、検討が必要かどうかという部分も再度見直していきたいと思っております。

町民に対しては、先ほど申し上げたとおり、区長、保護司の方を通じて協力を依頼しておりますが、職員については私も含め理解が少ない部分がございますので、役場内の周知も今後図っていきたいと考えます。以上です。

委員長 （今野善行君）

それでは、暫時休憩します。

再開は11時15分とします。

午前11時07分 休憩

午前11時15分 再開

委員長 （今野善行君）

再開します。

休憩前に引き続き会議を開きます。

11番千坂裕春君。

千坂裕春委員

時間も制限されていますので、1回目の質問でおおむね納得したものはやめて、まだ納得ができていない部分で議論させていただきますが、まずその1点で実質公債費の比率でございますが、やはり監査を意識したような取組じゃなくて、もう少しやはり将来に何ていうのか、町の財産として残せるようなもの、例えば形はないけれども、教育に傾けるものだってもそうだし、そういったもので考えが及ばないかなというところは財政課長にもお伝えしたいところなんです、こういったところでなかなかそういった発言、できないのであれば、やはり副町長にもその辺の答弁お願いしたいところです。もう少し、やはり攻めというか、そういったものが必要じゃないかと。財政課長は、私が言ったことを理解していただいた中でも、やはり町税が上がったからこうなったというのであっても、町税はあくまでも現代世界ですから、それだとやはり私の趣旨または財政課長が前段に言ったものと反するので、やはりそこは副町長、もう1回答弁お願いします。

それと、光熱費、省エネの関係は、取組は町民生活課が具体的にやっているのかな。ただし、財政課でもいろんな会議室をお貸しする折に、貸した人の例えば責任者というわけじゃないけれども、代表の人に設定温度何度にしてくださいというのが努力目標であっても国で定めているから、そういうものを守るということを徹底しているかどうかということ、まず1点としてお聞きします。

それと、国有提供施設等所在市町村助成交付金、防衛関係だということでは用途目的は制限ないということですが、やはり騒音とかそういったものが一番であって、それが一番大きいのはやはり吉田地区。場合によっては用途が制限されないであるならば、前者が言われたようにホテルの取組のトイレが足りないのであれば、そういったものにも使えるものですね。だから、そういったものを上手にを使って、やはり最初は吉田地区で考えてもらって、それでその年度になればほかの地域で使っていきべき予算じゃないかと思えます。以上です。お願いします。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長 （菊地康弘君）

それでは、千坂委員の再質問にお答えさせていただきます。

実質公債費比率に向けて、教育関係ですとか、そういうものに目を向けてはというご指摘でございます。現在、こちらにつきましては歳入、歳出、それぞれいろいろ見込んだ中で今年度はこのくらい借りの必要があるだろうとか、そういうものを毎年当初予算の中で見極めまして、なるべく財政調整基金から、なるべく大体今25億円くらいにはなっているんですけども、1回の災害とかで15億円とかの支出が伴ってきますので、なるべくその分は今後維持するような形で頑張っていくんですけども、今後ますます大事業が、令和4年、令和5年、令和6年に少し減るんですけども、さらに令和7年大事業が続きます。今、千坂委員さんがおっしゃったとおり、今後地方債、かなり増えていきますと当初予算でも間もなく100億円を超えていくという話もさせていただいている中で、今後そういう町債を借り入れまして、将来の方々にもご負担をいただく必要は出てくるとは思ってございました。

2点目の室温の設定についてなんですけれども、私財政課に来て7年が経過しまして、その間各部屋に何度設定というのはなかったと記憶してございます。エアコンがある部屋が庁舎の北側なんですけれども、庁議室ですとか職員厚生室、3階の委員会室等でございます。この部屋を含めまして会議室、執務室、空冷チラーということでやっております。

空冷チラーのよい点としましては、夜間電力を使って電気代が安くなるということはいいんですけども、デメリットとしましてなかなか冷たくなったりあったかくなったりしないということで、今現在本町の室温は25.5でこの時期はやっておりまして、議場では今24.5度に設定しております。会議室につきましては貼り紙とか今ない状況ですので、コミュニティーセンター等含めまして、節電にご協力くださいということで、目標の設定温度等貼らせていただくことも必要だなと、今思いました。

3点目の国有施設の防衛関係のものでございまして、今2,800万円ほど国から頂いてございます。吉田地区ということでございまして、吉田地区、除雪は当然大きくなっているんですけども、最近吉田地区では台ヶ森線、あちらのほう、7年、8年の計画で進めておったんですけども、吉田地区の事業に集中投資をしまして、半分くらいの年度で事業が完了しております。そのほか、大きい道路については大体終わっております。今行き止まり道路の長尾線等施工してございます。子育て支援住宅第1弾で施工しまして、今年については2棟の建築。あと、道路についてはほとんど終わ

っているんですけども、今後土地担当課で橋梁の長寿命化ということで、吉田地区も考えているようでございますので、こういう予算につきましては各地区のバランスを考えさせていただいて、なるべく均等になるようにということで考えていきたいと考えてございました。以上でございます。よろしくお願いいたします。

委員長（今野善行君）

11番千坂裕春君。

千坂裕春委員

実質公債費の件ですね。災害の復旧ということもあるんですけども、自主財源でどの割合ということも出てくるんですけども、やはりそこまで思っただけでまちづくりしていたら、必要なものまで削減して施策を考えなくちゃいけないというデメリットもあるので、やはりあくまでもそういったものを利用しながら、災害来たら国にも応援していただく、県にも応援していただくという体制であるべきと、私は感じました。

それと、光熱費、お金を安くしたいという思いで言っているんじゃないです。電力をいかに使わないか。それを初めて述べてから、様々な電力のいろんなミックスというの、出てくるのであって、初めは使わないということを徹底すべきだと思います。

それと、地域をバランス的にやるということ。やはり例えばよく上がってくる武道館前のモニュメント、あれも防衛予算で造ったらいいんですけども、やはり必要なところに必要なものというのが最前提で考えるべきだと思いますが、再度答弁お願いします。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

それでは、千坂裕春委員の再質問にお答えさせていただきます。

こちらの実質公債費につきましては、現在0.8ということになっておるんですけども、このデータが平成30年当時のものがバックデータになってございますので、今後令和元年、令和2年、だんだん起債が多くなってきて、多分来年度の報告では1.0台にまた戻ってくるのではないかと考えてございます。こちらにつきましても、今後そういう事業の優先順位等あるんですけども、そういうものに、借りられるものは

借りて対応していかないと、本当に健全な財政運営ができなくなってくる状況も見えてきておりますので、そういう対応をしていきたいと思っております。

光熱費につきましては、今役場でも職員提案で、お昼休みは小まめに電気を消しましょうということもございまして、各課、特に2階でお客様に迷惑かからない範囲で電気を間引きしながら、省エネを進めていくということもやっております。あとは今後LED化も進めていくようなことでも考えてございます。

地域をバランス的にとということでございまして、こちらにつきましても特に吉田地区ですと、防衛関係の補助事業、3条ですとか8条関係もございまして、そういうもの、使えるものについてはなるべく使っていくよう、財政課でも担当課に指導していきたいと思っております。以上でございます。

委員長（今野善行君）

ほかにございませんか。7番馬場良勝君。

馬場良勝委員

それでは、私から各課に1点ずつお伺いいたします。

まず、総務課にお伺いいたします。主要な施策の説明書39ページ、2款1項7目基幹業務システム等の運用の中で、サーバー室内の温度管理でバックアップを持ったエアコンということでご説明いただきました。これの使用されたのかどうか。まずお伺いしたいと思います。

財政課にお伺いいたします。昨年度のコロナ対策の本町の町から出した分の総額、どのくらい使用されたかお尋ねいたします。

危機対策室にお伺いいたします。主要な施策の39ページ、2款1項10目防災無線の運用管理ということで、防災無線の設備で移動系が220万円、同報系で110万円という修繕がありました。どのような修繕で、どのような効果が得られたのかをお尋ねいたします。

まちづくり政策課にお尋ねいたします。前段でも同僚議員から質問ありました。大和町総合計画、第5次総合計画の質問させていただきますが、会議等何回行われて、それに対するコンサルさんの関わり方、どのようなものだったのかお尋ねいたします。

委員長（今野善行君）

総務課長千葉正義君。

総務課長（千葉正義君）

それでは、馬場良勝委員のご質問にお答えいたします。

サーバー室内のエアコン設置でございますが、こちらについては昨年7月に工事を完了することで設置をいたしております。能力といたしましては、エアコン1基、冷房が10キロワットのものでございます。サーバー室は電子計算機器、大量にございまして、発熱も通常のものとは全く違う状況でございます。常時室内をこのエアコンで適正温度に設定をするためのものございまして、設置から常時稼働している状況でございます。以上です。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

それでは、馬場良勝委員のご質問にお答えさせていただきます。

コロナ対応で町から出た金額ということでございます。まず、財政課でコロナ関係全部調べた資料がございまして、こちらを見ますと大体事業では30ぐらいの事業がございまして、事業費でいきますと100万円単位でご説明させていただきますと、総額で約34億6,300万円ほどになってございました。そのうち、特定財源としましては国から32億6,000万円ほど頂いてございます。その中でも、コロナの地方創生臨時交付金が約2億6,400万円ほどになってございます。そのほかの特定財源としまして、県から4,500万円ほどございます。あとその他ということで、学校給食連合会から100万円ほどのものがございまして、残りの部分で一般財源で1億5,700万円ほど支出させていただいている状況でございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

危機対策室長児玉安弘君。

総務課危機対策室長（児玉安弘君）

それでは、馬場委員さんのご質問にお答えします。

まず、ネットワーク装置修繕220万円ということで、こちら吉田長者館山中継局と役

場を結んでおります無線回線に不具合が生じたので、修理を図ったところがございます。もう1点、パワーアンプ修繕につきましては、吉田峯地区でございます屋外子局に不具合が発生しまして、そのアンプの修繕を行ったところでございます。峯につきましては、修繕前音割れが発生して聞き取りづらいという状況が発生しましたので、その改善を図った修繕でございます。よろしく申し上げます。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

馬場委員さんのご質問にお答えさせていただきます。第5次総合計画の策定に係ります委員会等の開催回数でございますが、まず役場本部会議策定委員会につきましては5回の開催でございます。大和町の審議会につきましては、2回開催いただいております。PPTプロジェクトプランニングチームにつきましては、8回開催をさせていただきました。住民懇談会につきましては2回という形で開催をさせていただき、各会議ごとにコンサルにつきましては大体3名ほどが来まして一緒に説明、それから実行するという形。PPTにつきましてはグループ分けをしておりますので、そのファシリテーターという形もございますので、グループ分けは6グループに分けてございますので、そこは6名という形で参加をしておるという形になってございます。以上です。

委員長（今野善行君）

7番馬場良勝君。

馬場良勝委員

財政課については一般会計から1億5,700万円、そのぐらい出たということで、多分本年度についても恐らくそのぐらい。もしくは、もっと出るのかなという感じもするんですが、コロナが長引くという想定をすれば、それに向けた例えば何ていうの、積立てじゃないんですけれども、予備費でたしか少し去年は、今年度かな、1,000万円ほど上積みした部分あったんじゃないのかなと思うんですが、もうコロナに向けて、アフターコロナに向けてのそういうお金の考え方もあってもいいのかなと思いますけれども、お考えをお尋ねいたします。



それから、まちづくり政策課にお尋ねいたします。そういう議論、何度か重ねられた中で基本構想素案、我が家にも届いておりましたが、将来像が抜けているんですね。こういうつくり方というのは、要はボトムアップ式なのは分かるんですけども、これを町民の人が見て将来像がない基本構想を見て、どう思うかっていうのをどうも納得できない。不思議なつくり方だなと思うんですが、その辺どういう議論でここがどうやって抜けてしまった、抜けたっていう言い方、失礼かもしれないけれども、どうしてこうなったのかをお尋ねいたします。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

それでは、馬場良勝委員の再質問にお答えさせていただきます。

予備費でございますが、こちら地方財務の実務提要という書類に予備費の適正な金額というのがございまして、1,000万円から5,000万円という金額がございました。大和町では、これまでずっと1,000万円に来ておったんですけども、昨年コロナ関係、そういう災害が出たということで、今年度も当初から2,000万円ということにさせていただいてございます。今後もさらに、今年度どうなるか見なくてはいけないんですけども、その状況を見まして2,000万円ですけども、これを3,000万円とかにさせていただくこともあると思いますので、その節はどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

それでは、馬場良勝委員の再質問にお答えさせていただきます。

第5次総合計画の基本構想素案につきまして、毎戸に皆さんに住民説明会開催ができなかったということで、お配りをさせていただいたところでございます。その資料の中で、将来像については今後という形でコメントを付け加えさせていただいたところで、基本方針までをお示しをして、将来の目標等についてお示しをしたところでございます。

この議論の中でということですが、PPTそれらについてはその中でいろんな基本方針、将来像等も含めて検討等はしておったところですが、実際に事業としてやれる部分というところを検討させていただきながら、まずは具体の部分をもう少し見てということで、将来像はその部分、基本計画等を見てからという内容がありましたので、そういったところを踏まえて将来像を確定させていくという方針になっておりますので、そういった資料を今現在おつくりをさせていただいたところでございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

7番馬場良勝君。

馬場良勝委員

財政課については今予備費という回答もあったんだけど、今年度のコロナの状況を見ながら、恐らく同じぐらい支出しなければいけないのかなという感じもするので、今後予備費だけで足りないのであればコロナ対策費とは言わないけれども、そういう項目を作っても悪くはないのかなとは思いますが、その辺、要は町民の皆さんお困りですから、災害、長く続く災害に近いものがありますから、今後検討の余地はあるのではないかと思いますので、その辺ご答弁いただければと思います。

それから、第5次総合計画ですけれども、どうも納得できないのは、基本的に将来像があって、そこにこういうものが必要だよ、こういうものが必要だよってやっていくのがやり方なのかなと思うんですけど、課長のご答弁だと確かにそれもそうだなとは思いますが、将来像なくして何を我々町民やればいいのかって思っちゃうんですよ。町民の方もそう思われるかもしれないので、課長答弁できないのであれば、いずれ12月の一般質問でもう一度議論させていただきたいと思いますので、いま一度答弁いただければと思いますので、2点。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

馬場良勝委員の再質問にお答えさせていただきます。

これまで、コロナ関係につきましては随時会議等開催させていただいて、その都度予算をお認めいただき、また随時会議が間に合わなかった場合は、専決という対応もさせていただいたところでございます。今後も、住民の皆様に緊急、危急の対応が必要になってくると思いますので、そちらにつきましても今後検討させていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

馬場良勝委員の再質問にお答えさせていただきます。

委員おっしゃるとおり、そういった将来像があってそれに付随して事業という形の考え方も、当然理解はさせていただきます。ただ、今回町でお示しをさせていただいたスタイルがこのような形で、まずは基本方針を決めさせていただいて、その中で基本計画まで行った段階で、将来像に向けた部分をという形で考えていきたいと思いますので、まずは基本構想をお示しをさせていただいて、その後将来像に向けた基本計画が出てきた段階でお示しをさせていただくという形で、今考えてございますので、何分その機会の際にはお示しをさせていただくという形になるかと思いますが、今現状はそのような形で、策定に向けてスケジュール等行っておるという状態でございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

ほかにございませんか。4番佐藤昇一君。

佐藤昇一委員

それでは、私から1点。まちづくり政策課さんに説明書35ページ、広域行政の推進ということで、富谷ジャンクションのフルジャンクション化等の整備に対する要望活動を行ったということを、どういう形で要望活動を行ったのか内容をお示し願います。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

それでは、佐藤昇一委員の質問にお答えさせていただきます。

こちらにつきましては、仙台北部道路建設促進期成同盟会という形で行ってございます。富谷市長が会長をされているという形で、そのほか関係市町村という形で参加をしている形になってございます。富谷市、利府町、大郷町、大衡村の関係構成市町村でもって行っておるという形で、昨年度におきましてはこちら、会で行っているこの要望を、仙台北部道路のフル化、4車線化とフルジャンクション化に向けたということで、東北地方整備局、管理をしてございます東日本高速道路株式会社、それから国道維持仙台河川事務所、そちらに要望書を提出。それから、昨年度においては会長である富谷市長が赴くような形で手渡しという形で、要望書を提出しているという状態で活動を行ってございまして、そういった活動もございまして仙台北部道路については今現在4車線の事業が着手されるということで、今測量等を行っていただいておりますという状態に向けて今進んでおるとなっておりますので、そういったことの早期事業化に向けてなお要望を図っていくという形で、今活動を行っておるといってございます。以上でございます。

委員長（今野善行君）

4番佐藤昇一君。

佐藤昇一委員

私、この質問をさせていただいたのは、やはり北部工業団地に通勤される方々、ここ数年毎朝の交通情報に、大和警察署を先頭というせりふがほとんど毎日のように聞かれる状態なんですけれども、富谷ジャンクションのフルジャンクション化をすることで有料であっても、大衡まで一気に職場に向かいたいという方々がかなりいらっしやると思うんです。そういう意味で、富谷ジャンクション、隣の市の話かなと思っちゃうんですが、実は大和町内の交通状況の緩和、それからそういう仕事に従事する方々の利便性向上のためにも、北部道路の4車線化も大事なんですけれども、ぜひフルジャンクション化ということに対して、大和町で強く要望を進めていただければという思いで質問させていただきました。何か、課長からあれば。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

佐藤昇一委員の質問にお答えさせていただきます。

町でも、こういった形で委員がおっしゃったような内容も十分理解してございますし、町でも事あるごとにその国県に対しての要望という中では、富谷市という所在ではあるものの広域ネットワークの中では重要な位置づけになってございますので、そういうところでの要望としては、逐次行っていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

委員長（今野善行君）

ほかにございませぬか。3番佐々木久夫君。

佐々木久夫委員

では、私から財政課とまちづくり課に質問させていただきます。主要な施策、成果についての説明でございます。33ページに入札件数、入札の方法ということを書いてあります。これについて聞きたいんでありますけれども、273件もありました。その中で地元の業者は一体何件くらい受け取ったのか。そしてまた金額、そしてパーセント、さらには落札率、分かれば教えてほしいと思ひます。それと同時に、不調にされた、入札がされなかつた物件について、その後どのようにしているか。あと、地元事業者ができない仕事は幾らぐらいあつたか。パーセントで構いません。金額はいいですから。それを知りたいと思ひます。

もう一つは、まちづくり政策課でございます。36ページの町民バスデマンドタクシー運行事業でございます。現在、町民バスは宮床線ということで、宮城大学からバスターミナルまで来ているという話。1日何往復されているかでございます。それと同時に、地元の路線、いつも通っている路線からちょっと外れた住民の方が、おらほのここも通ってほしいんだやという要望があるかどうか。それを聞きたいと思ひますし、もう一つは先ほど路線バスの話をしました。宮城交通うんたらかんたらと出ておりますけれども、実際宮城交通とお話合ひしたことがあるかどうか。それをお聞ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

それでは、佐々木委員のご質問にお答えさせていただきます。

まず、令和2年度入札の町内の落札の状況ということでございます。まず、建設工事につきましては全部で29工種ございまして、その中で町内の業者が参加した業者が7つの工種がございまして、そのほか、参加できなかった部分では防水工事、機械器具工事、電気通信、造園工事等がございまして、全部の建築工事の契約額、税込みベースで申し上げますと、14億6,800万円ほどになってございます。そのうち、町内業者が落札した金額でございまして、9億2,400万円ほどになってございまして、割合にしますと63%、町内の業者が落札してございます。また、町外が金額で申し上げますと5億4,300万円ほどでございまして、パーセンテージでは37%となっております。測量関係、コンサル関係がございすけれども、こちらにつきましては町内の測量会社が3つくらいしかなくて、建築のコンサル業務ができないということでもございまして、その部分はなかなか対比ができないんですけれども、パーセンテージでいきますと町内が5%、町外が95%という割合になってございます。あと、物品、役務ということの項目があるんですけれども、そちらにつきましては町内の業者ですと、大体2社ぐらいしか入札に参加しない状況がございまして、全体では11.8%、町外では88.2%という状況となっております。

入札不調につきましては、いろいろ特に河川関係の災害では入札不調が大変多かったんですけれども、こちら再入札、再々の入札、または災害の場合ですと入札価格、予定価格より20%以内に入っていれば、一番安いところと協議できるという項目がございまして、一番安いところと随意契約の協議をしまして、その価格が予定価格の中に入っていれば契約をさせていただいて、なるべく住民の方々に迷惑かからないように、早期に工事を発注しているという状況がございました。以上でございます。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

佐々木久夫委員のご質問にお答えさせていただきます。

町民バスの往復本数でございまして、バスターミナルから宮城大学までの分としま

して5.5往復になってございます。最終便のみが宮城大学からバスターミナルへという形で、その分だけありますので、それ以外は宮城大学からバスターミナルという形で往復はするんですが、最終便だけということで5.5往復となっております。それ以外にルート外への停留所への要望という形のもの、昨年度においてもそういった要望は今のところ伺ってはいない状態ではございます。

民間のバス会社さん、そちらの正式な協議という形でのお話はまだしていない状態ではございますが、事務レベルでの話の中では時間帯等をお聞きした際に、新規の路線云々となったときには、協議をしていただいているということにはなっておりますけれども、その辺は承知をしながら正式にこのルートを走りたいという話までは、協議をしていないという状態ではございます。

委員長（今野善行君）

3番佐々木久夫君。

佐々木久夫委員

入札については大体承知しましたけれども、工事に関しても結構災害、今話がありましたとおり、なかなか事情、災害の現場見るとなかなかできないという話は聞いております。ぜひそういうことを含めまして、それがために工期が延びるということもあると思いますので、そこら辺はよく考えていただきまして、担当課と話ししていただきたいと、要望で申し訳ないんですけども、ただ今後いろんな形で地元ができない仕事、そして物品、もっと業者がいるんじゃないか、ただ入札参加の申請出さないと受け付けてくれないんでしょうから、そこら辺もう少し何とか、地元の物品に関しての業者をもう少し探してほしいなと感じておりますので、その点について再度お願いいたします。

それと、先ほどデマンドはある程度希望があって運行するんでしょうから、町民バスに関しては路線が決まっております。ぜひ、地元から要望があったら少し、吉田を回れっていうことはできないと思いますけれども、そこら辺、団地回るだけじゃなくて、小野とかいろんな経由があると思います。宮床中学校とかいろいろあると思いますので、そこら辺要望が出たら対応してもらえるかどうかお聞きしたいと思います。よろしく申し上げます。

委員長（今野善行君）

財政課長菊地康弘君。

財政課長（菊地康弘君）

佐々木委員の再質問にお答えさせていただきます。

物品関係でございますが、実際大和町では2社という状況でございます、こちら2年に1度大規模な参加受付をしております。その中間年次につきましては、各市町村で受付をしておりますので、その際には以前から町のホームページでしたり、大和町広報にも掲載をさせていただいておりますので、なるべく町内業者さんもこちらで把握している業者さんもございますので、今年度またこういうのをやりますよというアナウンスだったりPRして、入札の登録をしていただくように努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

佐々木久夫委員の再質問にお答えさせていただきます。

委員ご質問いただきました町民バスの新たな停留所、ルートという形のご意見いただいたところでございますが、町内でございますと町民バスルートとデマンドタクシーという形の中でご利用いただいているところがございます。ある意味、すみ分けをさせていただいた部分もございますが、その利用登録をいただいて逆に吉田地区、宮床地区においてもその辺のルート上であれば、その辺の考えもあるかとは思いますが、新たなコースとなった際にその辺の需要調査、それからデマンドタクシーとの競合等もございますので、地区としては網羅されているものではないかなと、ちょっとこちらでも、その辺の利用形態等も改めてこちらでも検討したいと思っておりますが、デマンドと町民バスのすみ分けの中で対応できればと考えてはございます。以上でございます。

佐々木久夫委員

おおむね分かりました。詳細については直接聞くということで終わりたいと思っております。よろしくどうぞ。



委員長（今野善行君）

確認をさせていただきます。この後質問のある方は何名ほどいらっしゃいますか。お一人の方。じゃあ、進めさせていただきます。8番千坂博行さん。

千坂博行委員

それでは、私からまちづくり政策課に1点。2款1項6目プレミアムつき商品券についてお伺いします。一昨年3月31日で支援が終わって、その後、4月以降の部分が今回載っていると思うんですが、全て終わったところで細かいところは金額要りませんので、町民の方に商品券届くまでにどのぐらいの費用、何割とか何%とかかかったのかというのをお伺いします。

委員長（今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長（江本篤夫君）

すみません、今現在この昨年度、主要な施策に関する件数については56件分という形で、換金があったわけなんですけど、全体となりますと今手持ちの中で確かな数字というのが把握できていない状態でございます。再度お示しをさせていただきたいということでございます。申し訳ございません。

委員長（今野善行君）

課長、あしたですか。今日の午後。それでは、午後から現地視察あるので。8番千坂博行君。

千坂博行委員

再質問をします。金額等じゃなくて、ざっくり去年の主要な施策によると3,800万円ぐらいで計上されるんですね、去年のやつは。今回400万円ぐらいなので、4,000万円ちょっとだと思うんですけども、そのほかに見えないところって結構あると思うんですね。商店街の皆さん負担されている等。その費用って結局のところやれば、今と同じやり方していれば、ずっと同じかかると思うんです。結果踏まえてですよ、例えば電子マネーとか、今はそういうのやっていますよね。そこにかかる費用って随分削減できると思う。今後まちづくり、商工観光課もやっていますけれども、同じよ

うなところだと思わすけれども、その辺考えて幾らでも、町民の方に還元できる  
ようなところにつなげていってもらいたいというお話をしたかったので、お伺いしま  
す。何かあれば一つ。

委員 長 （今野善行君）

まちづくり政策課長江本篤夫君。

まちづくり政策課長 （江本篤夫君）

大変申し訳ございません。千坂博行委員の再質問にお答えします。

正規な数字を上げなくて大変申し訳ございません。委員のおっしゃっている内容に  
ついては、商品券等の配布の際のやり方といいますか、そういったものについてのデ  
ジタル化といいますか、そういったところの手法をとということになるかと思わすので、  
そういったことに関しては昨年度についてはこの消費税引き上げということで、  
プレミアムやりましたが、コロナ関係においてもいろいろな支援金等ござわすので、  
そういったところの手法については国のほうもあわすけれども、そういった手  
法を検討していく方向に行くんだらうなどは思わすござわす。その辺は国の内容等  
も見ながら検討していきたいと思わすので、よろしくお願わしたいと思わす。以  
上です。

委員 長 （今野善行君）

そうすると、あした大丈夫ですか。しなくていいですか。

それでは、ほかにござわせんですね。

「なし」と呼ぶ者あり

ないようですから、これで総務課、財政課、まちづくり政策課所管の決算について  
の質疑を終わります。

午後から予定されている現地調査について事務局長から説明します。

議会事務局長（櫻井修一君）

大変お疲れさまでござわす。現地調査につきましては事前にお配りしてあわす  
日程に基づきまして、令和2年度城内大堤公園木製デッキ改修工事をあわす5箇所  
の調査を行わすので、よろしくお願わいたします。調査の際は、作業服にお着替え  
の上、長靴に履き替わていただきます。ヘルメットの着用につきましては、今回工事

中の現場などはございませんので、不要となります。なお、役場玄関前を午後1時に出発いたしますので、マイクロバスにお乗りいただきたいと思います。

調査を終了し現地に到着する時間は、午後4時を予定しておりますので、よろしくお願いたします。事務局からの連絡は以上でございます。

委員長（今野善行君）

それでは、現地調査につきましてよろしくお願したいと思います。

なお、明日の再開は午前10時です。よろしくお願いたします。お疲れさまでした。

午後0時02分 散 会